

ISO/TC61(プラスチック)/SC12（熱硬化性材料）、分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC12の構成

ISO/TC61/SC12は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。現在、87の規格を有する。幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2004年より受諾している。議長は、日本（2016年より山崎聡氏（三井化学株式会社））が受諾している。2019年のメンバーは、Pメンバー（投票権有す）が、18カ国、また Oメンバー(オブザーバ)は、11カ国であった。

表1のように三つのWG（作業グループ）が活動している。

WGのコンビネータは、WG2は正岡和隆氏、WG5は正岡和隆氏、WG6は Dr.Thomas. Conti（ANSI ; USA）が務めている。

表1 TC61/SC12のWG

WG	コンビネータ	タイトル
WG 2	日本	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

第68回ISO/TC61年次国際会議は、9月23日から中国の成都市のInterContinental Chengdu Global Centerで開催され、同会議で審議された国際規格の制定・改正状況をWG（作業グループ）別に、記述する（規格の名称は簡略して示す。）。

2. ISO/TC61/SC12の審議事項

(1) WG2(フェノール樹脂)

コンビネータ：正岡和隆氏

- a) 2019年Systematic Reviewは、2019年10月15日より投票開始予定である。来年度の国際会議で審議予定。
- b) 新規プロジェクトの提案は、特になかった。

(2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

コンビネータ：正岡和隆氏

- a) 日本から提案の、「Thermosetting resin and UV curable resin – Determination of shrinkage rate by continuous measurement method」(仮題)については、Working Draft案について説明して審議した。
- b) 2019年Systematic Reviewは、1規格が見直し投票され、確認された。

(3) WG6（ポリウレタン原料）コンビネータ：Dr. Conti（代理コンビネータ 山崎聡氏）

- a) 日本から提案の、「非水銀法ポリオールの不飽和度測定」については、事前検証試験について報告して審議した。
- b) 2019年Systematic Reviewは、3規格が見直し投票され、確認された。

(以上)